

『評価からはじめるまちづくり！2009』（第3グループ）

施策名	活力ある農林業の振興		
対象	農業者, 林業者	成果指標	生産農業所得 林業純生産額 販売農業従事者数
意図	安定した生産所得が得られる		
参加者	堀内 照幸, 池田 享司, 砂川 菜摘, 横手 浩徳, 外館 隆志		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> 3K ・きつい ・きたない ・かっこわるい 労働時間が長い 後継者不足 <p>家族経営の問題点 給料体系がちゃんと出来ていない。 女性労働者の負担(家事労働等)が大きい。</p> <p>所得が低い。</p>	2.5
<p>生産基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地の有効利 山間部では、農地が小さく、また傾斜もあるので作業効率が悪い。 都市部が近いので、兼業農家が多く、農地が分散している。 	
<p>販売戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物ブランド化後のPR不足 生産だけではだめ。販売まで。(流通への関与) 地産地消 食料の「安心・安全」の確保 	市の評価
<p>外的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料等のコストや価格の変動に影響される。 天候による農産物の収穫量や海外からの輸入により販売価格が変動しやすい。 	2
<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然との共存 環境に対する貢献度が他の産業より高い。(温暖化の抑制, CO2の吸収など) 	
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンツーリズムの活動の定着化 次世代施策 ・農育・環境(小さな頃から教育が重要) 	

グループワーク

効果	成果指標及び課題
	<p>一押し!</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家を続けたいと思う人数 グリーンツーリズムの体験者の満足度を調べる
	<p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働時間内の仕事内容と量の把握 3Kへのイメージふっしょく 3K達成感 ・販売農業従事者数の雇用形態の把握 農業機器の状況把握 ・アルバイトを含まない販売農業従事者 労働時間を調査 ・新たに農業を始めた人数 新規参入者数 ・企業参入 ・跡継ぎがいる農家 ・生産者の所得 担い手 兼業農家 ・世帯あたりの農業所 所得の時給換算 ・市の施策施行以降と以前の所得生産額の比較
	<p>生産基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 傾斜地を利用した産業 農地の集約化, 転用 休耕地の面 世帯あたりの農地面積
	<p>販売戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートをとるなどしてブランド化されている農産物の認知度を調べる 地元農産物の取扱率, 売場面積 生産物の地元への出荷 流通経路把握(プロデュースアドバイス?) 独自の販売ルートを持っている農家数 アンテナショップ利用者, 納入者
	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林植樹 環 CO2の吸収率 副作用の再利用 ・ふん尿 ・食べ残し 農業の使用率やエネルギーの使用率(エコ率?)
	<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市との交流人, 物流 グリーンツーリズムを修学旅行にプログラム化(誘致)学校 グリーンツーリズム参加している農家数 グリーンツーリズムの新しく参加した人とリピーターの数を調査 農業体験研修, 学習 農業体験を生徒にさせている学校
	<p>外的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者希望販売価格と実際の販売値